

## 下関市立しものせき水族館 海響館

### 特別展示「奄美の海探検記～ミステリーサークルの謎～」

開催期間：平成27年7月4日（土）～9月23日（水）



#### 【企画展の目標】

- 奄美大島で発見された新種のフグ「アマミホシゾラフグ」の不思議な生態にスポットを当て、生息周辺海域であるサンゴ礁やマングローブ域の海洋生物や海洋環境を紹介し、海における「生物多様性」や「新発見を通じた海の神秘」について紹介し、海への興味をもつ機会とします。
- 新種フグの独特な「産卵床実物大レプリカ」の展示や「自分で作る産卵床コーナー」、映像と実物を融合した展示手法等により、体験的に海洋生物や海洋環境について学べる機会とします。

#### 展示会場の様子



しものせき水族館 外観



特別展会場 入口



新種フグの生息周辺海域として特徴的な「マングローブ域」や「サンゴ礁」の海洋環境や生物について、生物の多様性や海的美しさを映像や実物展示を交えて紹介することにより、海の世界そのものや、そこに暮らす生物について紹介しています。



「海の世界のミステリーサークル」とも呼ばれる新種フグの産卵床実物大レプリカの展示や、自分たちで産卵床を作るコーナーなど、新種フグの不思議な生態を体験的に知ることを通じて、不思議な習性をもつ海洋生物について紹介しています。



不思議な生態を持ったアマミホシゾラフグが新発見されたことを一つの例として、現在でも年間約 18,000 種の動植物等が発見されていることから、海の世界にもまだまだ不思議な生態を持った生物がいて、未だに発見されていない可能性があるという事を紹介し、まだ謎の多い海に対する興味を持つキッカケとしています。

## 関連事業の様子

### ■ マングローブの生き物給餌解説

【開催日時】特別展開催期間中毎日・随時開催

【開催場所】下関市立しものせき水族館 特別展会場内

【参加者数】約800名

【目標・内容】

- 新種フグの生息周辺環境である「マングローブ域」の海洋環境と生物を再現した展示において、解説員によるエサやりと解説を行うことによって、自然環境をリアルに観察する機会とし、海洋環境と生物に対する興味をもつ機会とします。
- 解説員による対面解説により、マングローブ域が重要な海洋環境のひとつであることや、生物のゆりかごとなっていることについて紹介すると共に、それらを守っていくことが生き物を守る事にもつながるということ意識するキッカケとします。



水槽の前でマングローブ域の役割や見どころを解説するほか、生き物がエサを食べる様子を観察できるようにすることで、楽しさと強い印象を演出しています。その後、Q&A形式で質問を引き出しながら、海の生き物や環境を守っていくという意識をもつ機会としています。